

アーキエイド

建築家による復興支援ネットワークの
石巻市牡鹿半島における浜の支援活動

福屋粧子

福屋粧子建築設計事務所
東北工業大学工学部建築学科講師
アーキエイド発起人・初代事務局長

Archi+Aid

東日本大震災における 建築家による復興支援ネットワーク

- 2011/03/11 東北地方太平洋沖地震 M9.0
- 2011/03/13 活動準備会メールコンタクト開始
- 2011/03/16 活動準備会 第1回ミーティング
- 2011/04/11 website オープン <http://archiaid.org/>
- 2011/06/15 地域支援開始
- 2011/09/20 一般社団法人設立



270 supporters

Founding Members

Hitoshi Abe
Masataka Baba
Shoko Fukuya
Tohru Horiguchi
Taro Igarashi
Toshikazu Ishida
Masashige Motoe
Senhiko Nakata
Yasuaki Onoda
Kazuya Sakurai
Masayoshi Takeuchi
Shuang Yan

Executive committee

Taro Igarashi
Yasuaki Onoda
Kazuhiro Kojima
Akira Suzuki
Masashi Sogabe
Yoshiharu Tsukamoto
Osamu Tsukihashi
Kouichi Tohki
Senhiko Nakata
Shoko Fukuya
Ryuji Fujimura
Yoshihiro Horii
Masashige Motoe
Ryo Yamazaki
Tomohiko Yamanashi

Support Members

Makoto Adachi
Kazuko Akamatsu
Shin Akiyama
Masana Amamiya
Yoko Ando
Jun Aoki
Masato Araya
Yasuko Arita
Manabu Chiba
Mark Dytham
Shuhei Endo
Ryuji Fujimura
Nobuaki Furuya
Masahiro Gono
Hiroko Goto
Mao Harada
Masahiro Harada
Go Hasegawa
Jun Hashimoto
Tom Heneghan
Masashi Hino
Yuki Hiraiwa
Yujin Hirase
Akihisa Hirata
Nanae Hirota
Toshiaki Hisatomi
Yukinari Hisayama
Yoshihiro Horii
Sadao Hotta
Kenichiro Ide
Toshikatsu Ienari

Toyo Ito
Yasuyuki Ito
Tatsuo Iwaoka
Ishigami Junya
Takanori Kagawa
Momoyo Kaijima
Masahide Kakudate
Kiwako Kamo
Yuzo Kariya
Hideaki Katsura
Hiroshi Kawahito
Jun Igarashi
Yoshihiko Iida
Jiro Iio
Kumiko Ikada
Kumiko Inui
Kenya Ishihara
Kaori Ito
Nagisa Kidosaki
Hiroaki Kimura
Keisuke Kitagawa
Atsushi Kitagawara
Koh Kitayama
Astrid Klein
Kazuhiro Kojima
Yasutaka Konishi
Kengo Kuma
George Kunihiro
Hiroshi Kuno
Toshimitsu Kuno
Shunsuke Kurakata
Yoshinori Kuwahara

Shigeki Maeda
Takashi Manda
Ayako Maruta
Hironori Matsubara
Tatsu Matsuda
Kyoko Matsuoka
Katsuhiko Miyamoto
Toshiko Mori
Eiji Morikawa
Makoto Motokura
Takanori Murakami
Chie Nabeshima
Dai Nagasaka
Jo Nagasaka
Hirokazu Nagata
Yuko Nagayama
Hiroshi Naito
Ryusuke Naka
Hiroshi Nakamura
Ryuji Nakamura
Yudai Nakamura
Satoshi Nasu
Osamu Nishida
Ryue Nishizawa
Taira Nishizawa
Mika Noborio
Shunichi Nomura
Jiro Ogawa
Shin'ichi Ogawa
Tomio Ogihara
Hidetoshi Ohno
Hiroshi Ohno

Cameron Sinclair
Kimihiro Okada
Izumi Okayasu
Shinichi Okuyama
Maki Onishi
Hiroshi Ota
Takao Ozasa
Kazuya Saito
Kazunari Sakamoto
Taku Sakaushi
Mutsuro Sasaki
Yusuke Sasaki
Jun Sato
Yu Sato
Kazuyo Sejima
Satomi Sekiguchi
Naomi Shibata
Satoko Shinohara
Takao Shiotsuka
Akira Suzuki
Nobukharu Suzuki
Masashi Sogabe
Kaoru Suehiro
Hirofumi Sugimoto
Yoshichika Takagi
Ippei Takahashi
Teiichi Takahashi
Koji Takeda
Yoshiji Takehara
Makoto Takei
Sei Takeyama
Tomoyuki Tanaka

Manuel Tardits
Mariko Terada
Mikiko Terauchi
Mari Tochizawa
Yoshiharu Tsukamoto
Osamu Tsukihashi
Tetsuya Ukai
Katsu Umebayashi
Motomu Uno
Susumu Uno
Takemi Watanabe
Hideo Yaguchi
Masao Yahagi
Ryo Yamada
Shin Yamada
Kyoko Yamaga
Riken Yamamoto
Tomohiko Yamanashi
Ippei Yamasaki
Yasuhiro Yamasaki
Satoru Yamashiro
Ryo Yamazaki
Jun Yanagisawa
Koichi Yasuda
Motoki Yasuhara
Hajime Yatsuka
Makoto Yokomizo
Hiroshi Yoneta
Hideki Yoshimatsu
Hidetaka Yoshimura
Yasutaka Yoshimura
(A total of 238 supporters)

Archi+Aid mission

地域支援

support for the local communities

多面的な復興支援・地域振興プラットフォームの構築

被災地域の復興支援や地域振興に対し、国際的な建築家・大学とのネットワークを活用し学際的かつ領域横断的な人材供給を実現する創造的な人材プールを構築して、まちづくりから、復興デザインのコンサルティング、文化・教育的なコミュニティ・ケアなど、多面的な支援を行う。

教育

Education

実践的復興教育・人材育成

復興支援・地域復興の継続的な取り組みを、文化的復興のプロセスとして位置づけ、建築家や専門家らの専門的な力と被災地域のニーズのマッチングを行い、そこで行われるプロセスに住民や学生の参画を促して実践的な復興教育サービスの開発を行うと共に、これからの地域を支える若い人材の育成に取り組む。

アーカイブ

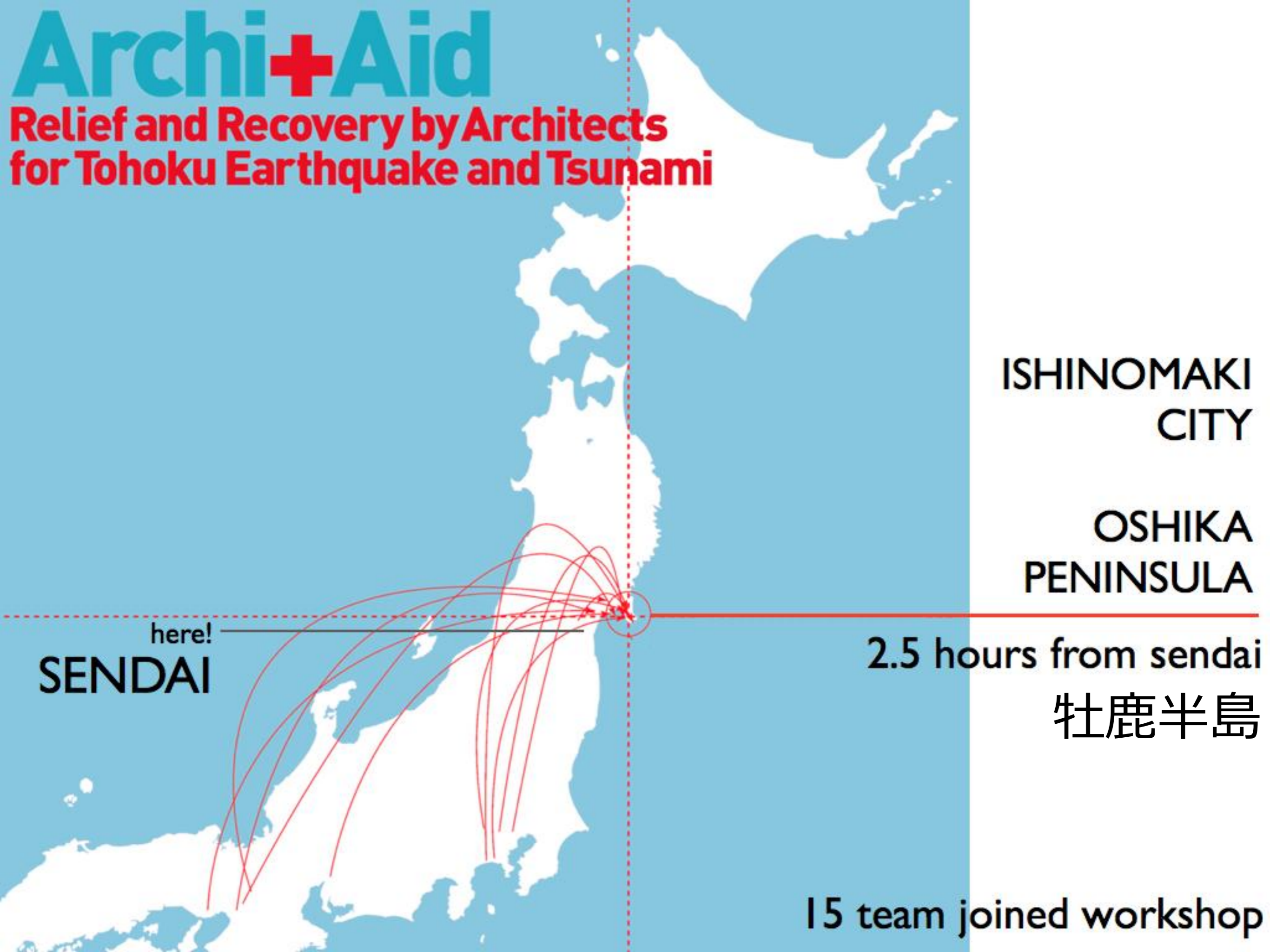
Archive

震災知識の集積と啓蒙

今回の大震災に関する学際的・領域横断的な研究や教育的活動をサポートし、震災に関する知見を広く次世代に受け継いでいけるように情報の集積と啓蒙に努める。

Archi+Aid

Relief and Recovery by Architects
for Tohoku Earthquake and Tsunami



ISHINOMAKI
CITY

OSHIKA
PENINSULA

here!

SENDAI

2.5 hours from sendai

牡鹿半島

15 team joined workshop



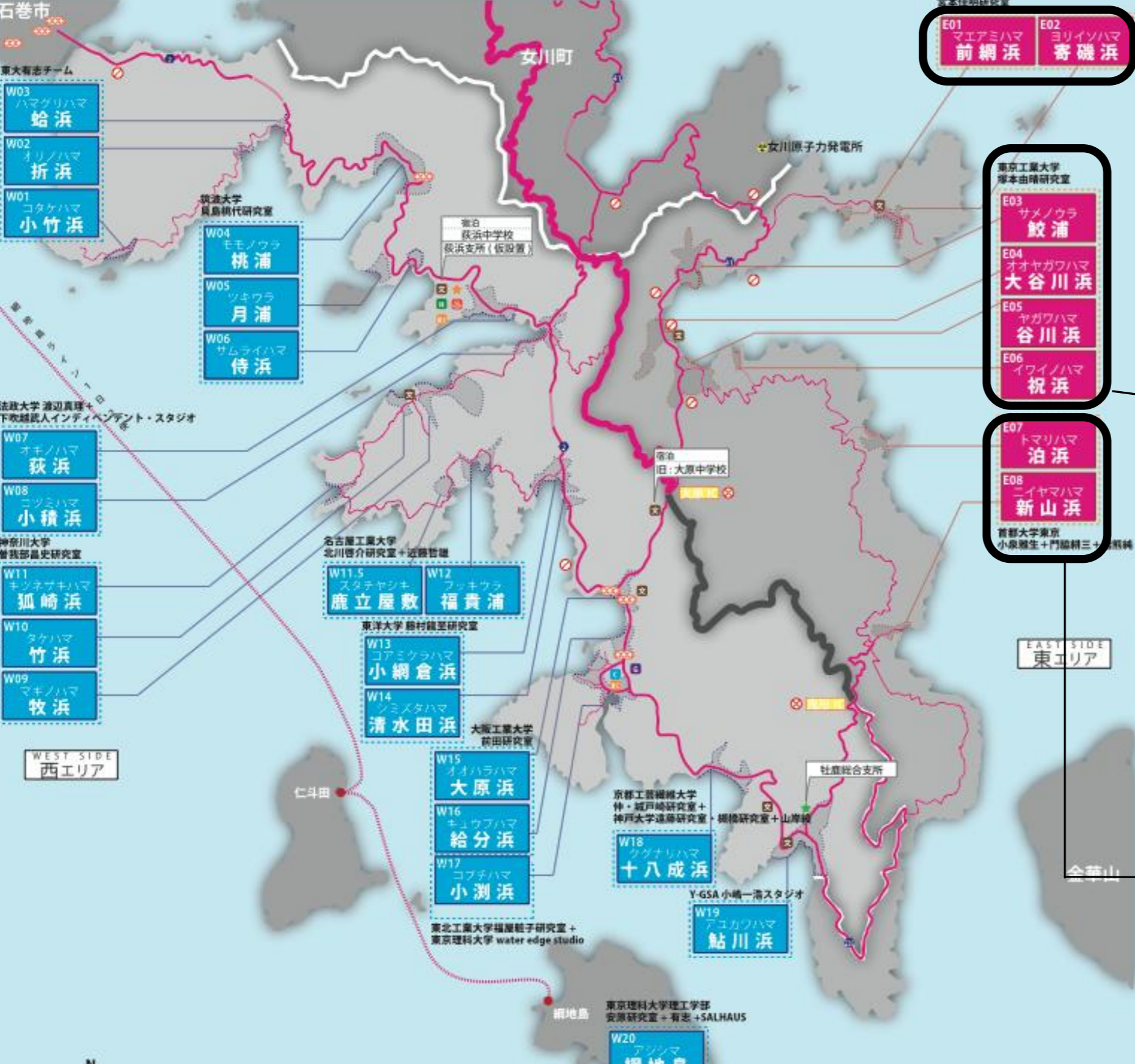
寄磯浜：被災率58%



谷川浜：被災率100%



新山浜：被災率0%



なぜ15チーム必要か：

それぞれ異なる30浜の状態を、建築家の視点からきめ細かく調査し、それぞれの場所に合う提案を

『建築家になにができるか？』

地形を読むこと

話をきくこと

手で考えること

スケールを横断して思考すること

Archi+Aid

Relief and Recovery by Architects for Tohoku Earthquake and Tsunami

15 Univ. team
111 member
5 days

泊

小泉雅生
猪熊純
門脇耕三
角野 涉
梅村 直裕
宇野 達也
新原 昇三

寄

宮本 佳明
大阪市立大学
宮本佳明研究室
藤本 絵理
足立 優太
西村 唯
塩原 裕樹

宮

妹島和世
西沢立衛
妹島和世+西沢立衛
+Y-GSA
野口 平林雄
山本 藤末萌
高橋 秋山照夫
佐藤大基 川畑智宏

鮫

塚本 由晴
東京工業大学
塚本由晴研究室
齋 碩
河西 孝平
側崎 秀明
高橋 浩人

蛤

千葉 学
藤原 徹平
兼大有志一
中村 航
小林 栄範
成瀬 友梨
張 玲
祝 亜弥 Chen Yao

桃

貝島桃代
筑波大学 貝島研究室
吉岡 優一
桑原 優
小泉 祥典
栗原 広佑

萩

渡辺真理
下吹越武人
法政大学
インテリゲンチカスタジオ
洞口 文人
市毛 毅
香川 慎太郎
山野 友宗

鮎

小嶋一浩
大西 麻貴
石塚直登
山崎健志
伊藤孝仁
名村廣孝

網

福屋 粧子
東北工業大学 福屋粧子研究室
+東京理科大学 water edge studio
鹿内 翔太 荒井 隆太郎
伊藤 寿幸 奥井 龍太
渋谷 昂平 佐藤 聖

狐

藤村 龍至
東洋大学 藤村龍至研究室
武野 大祐
大山 宗之
荒井 允斗
森田 幸雄

給

曾我部 昌史
神奈川大学 曾我部研究室
丸山 美紀
山本 嘉
岸井 士穂
金子 智哉
杉山 聖
清水 智之

島

安原 幹
東京理科大学 建築学研究室
+有志+SALHAUS
日野 雅司
日野 雅利
榎田 幸志
榎田 悠太
大久保 遼一

八

仲 介
村岡 和哉
山田 雄
相澤 啓
東京工業大学 相澤研究室
+東京大学建築学研究室
+山本 嘉
河田耕之介 村岡伸尚
松本重人 坂本千景

福

前田 茂樹
大阪工科大学
前田研究室
白須 寛幸
田村 広志
井野 正治

福

北川啓介
近藤 哲雄
名古屋工業大学
北川研究室+近藤哲雄
坂口 大史
荒木 省吾
照本 美太
山田 美太

- Y-GSA 小嶋一浩スタジオ
- 神奈川大学 曾我部昌史研究室
- 東京工業大学 塚本由晴研究室
- 東洋大学 藤村龍至研究室
- 妹島和世 + 西沢立衛 + Y-GSA
- 大阪市立大学 宮本佳明研究室
- 京都工芸繊維大学 城戸崎和佐研究室
- 神戸大学 槻橋修研究室
- 首都大学東京 小泉雅生 + 猪熊純 + 門脇耕三
- 筑波大学 貝島桃代研究室
- 東北工業大学 福屋粧子研究室 + 東京理科大学
- 法政大学 渡辺真理 + 下吹越武人スタジオ
- 名古屋工業大学 北川啓介研究室 + 近藤哲雄
- 東京大学 千葉学研究室 + 隈研吾研究室 + 藤原徹平
- 東京理科大学 安原幹研究室 + 有志 + SALHAUS



チーム募集 6月24日～30日

プレリサーチ 7月5日～6日

リサーチ 7月20日～24日

DAY1 フィールドワーク

DAY2 ヒアリング

DAY3 提案書作成

DAY4 住民への発表会

最終講評会

DAY5 総合発表会

(ゲスト 地域エコノミスト 藻谷浩介氏)

報告書作成 8月1日

報告書提出

横浜展覧会 8月20日～10月14日

全体展覧会 9月23日～10月11日

仙台展覧会 10月15日～11月

02: 地域診断カルテ

石巻市牡鹿半島調査
W17-02 診断カルテ

小浜浜 kobuchi-hama

作成日時 調査資料作成者
2011/07/23 東北工科大学 建築・都市・環境・計画
東北大学 建築・都市・環境・計画

調査日時
2011/06/12 2011/06/23 2011/07/05 2011/07/06
2011/07/20 2011/07/21 2011/07/22 2011/07/23

参考行政資料
2011/06/14付 牡鹿総合支庁調査 状況報告資料
牡鹿町 上・中・下巻

防災基礎データ

行政区	人口	世帯数
小浜	576人 2011年推定	159世帯 2011年推定
行政区長	奥松	
石巻市長	表浜	

防災施設

- コンビニ (CoCoストア・ホットスパー)
- ボリススタンド (スタダ石巻)
- 宮城県漁業協同組合 表浜支所
- 石巻市牡鹿公民館小浜分館
- 自動車整備工場 (社員モーターズ)
- 消防署 (昔7)
- 食品雑貨店 (4軒)
- 五十鈴神社 (子ども神輿・失せもの御座)
- お墓園さん (穴の空いた石を奉納)

用地

地

地

防災主要産業

- 表浜: 養殖漁業 (ワカメ・カキ・アナゴ)
- 小浜: 養殖漁業 (ワカメ・カキ・漁業 (アナゴ・ナマコ))

定住率

防災基礎データ	防災基礎データ	防災基礎データ
被災世帯数	被災率	自宅生活世帯数
130世帯	82%	29世帯 (推定)
2011/06/20	2011/06/20	2011/06/20

避難所

民家 19カ所 → 民家 6カ所 防災民泊約250人

2011/06/19 2011/07/02 寺山避難所30人 民家 (おまんこ) 3人7

地区内避難者数

351人 2011/06/19 避難者数

地区外かつ半島内への避難者数

戻る希望率

(調査中) 人 (調査中) 割合

半島外 (石巻市等) 避難者数

戻る希望率

(調査中) 人 (調査中) 割合

仮設住宅

予定増築戸数

第一期 11-14棟 (約100㎡) 第二期 113戸? 第三期 113戸?

地名由来・経緯

表浜: 地方自治 (自治管理官 宮城町) 1984年

小浜: 漁業 (種別なし?) (自治管理官 石巻市)

漁業種別区分

外資施設	防災施設	水産施設
大	大	大

ライフライン+通勤環境

水道	電気	電話
OK	OK	OK

連絡・集食方法

集食所	連絡方法
表浜公民館2F	氏長携帯
海水エリア	7/21 15:00
	7/23 15:00

表浜
・主に養殖 (ワカメ・カキ・アナゴ)
アナゴは8-9月
・10年前くらいに遊漁化
・水曜日、日曜日は互換機古作業によって休業石巻市内に買い物に出かける人が多い

漁獲
・岸壁が整備できれば3年で復興できる。

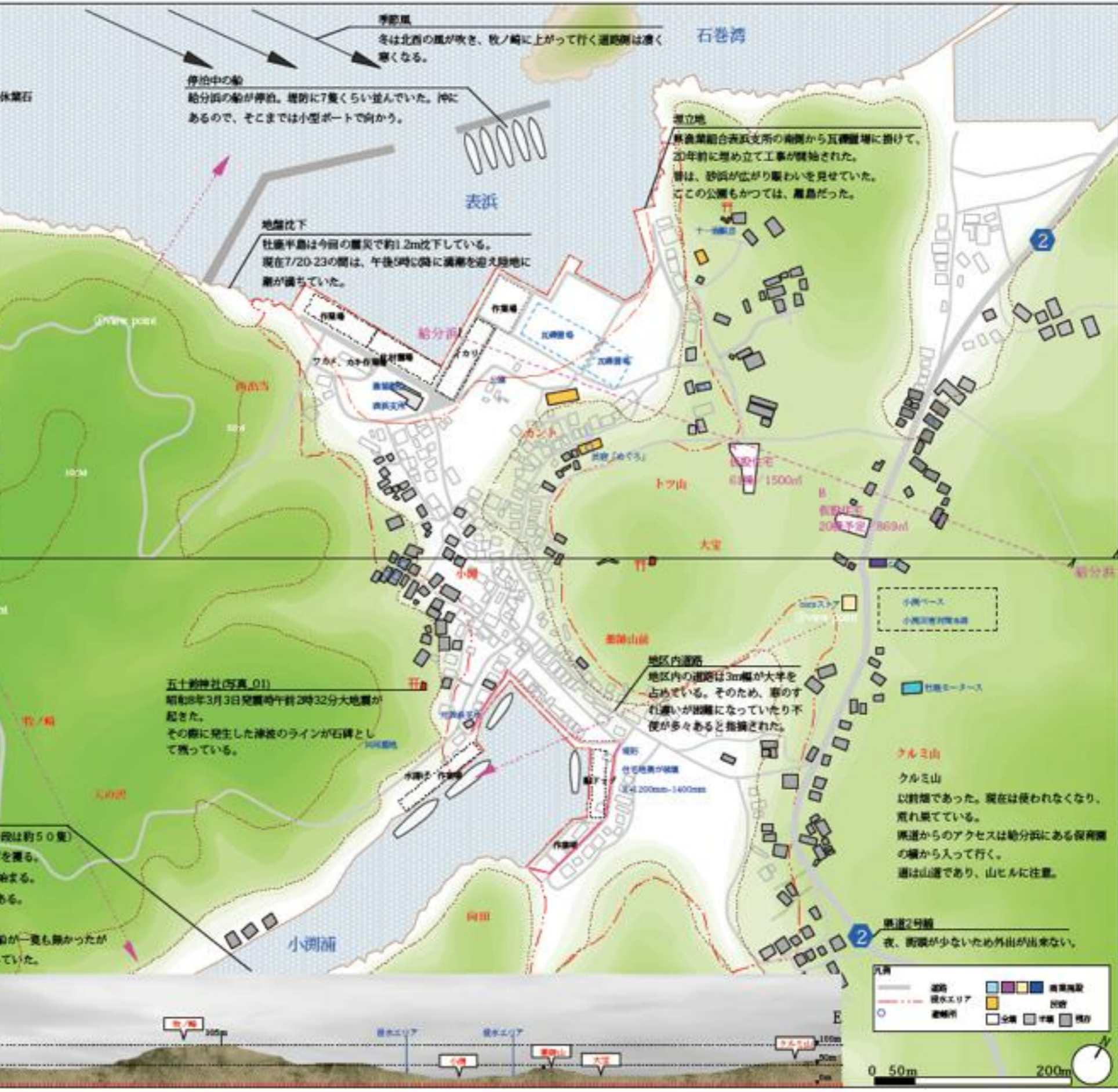


小浜
・昔に漁船が停泊。 (船泊は約50隻)
・ワカメ、カキ、アナゴを獲る。
アナゴ漁は15:00から始まる。
10℃水揚げするときもある。
1ヶ月で300t程度。
6月に小浜港を離れる時は船が一隻も離れなかったが今回は多くの船が停泊していた。

X-X section 1/10000

W E

sea level 4.7m



04: アクティビティ提案書

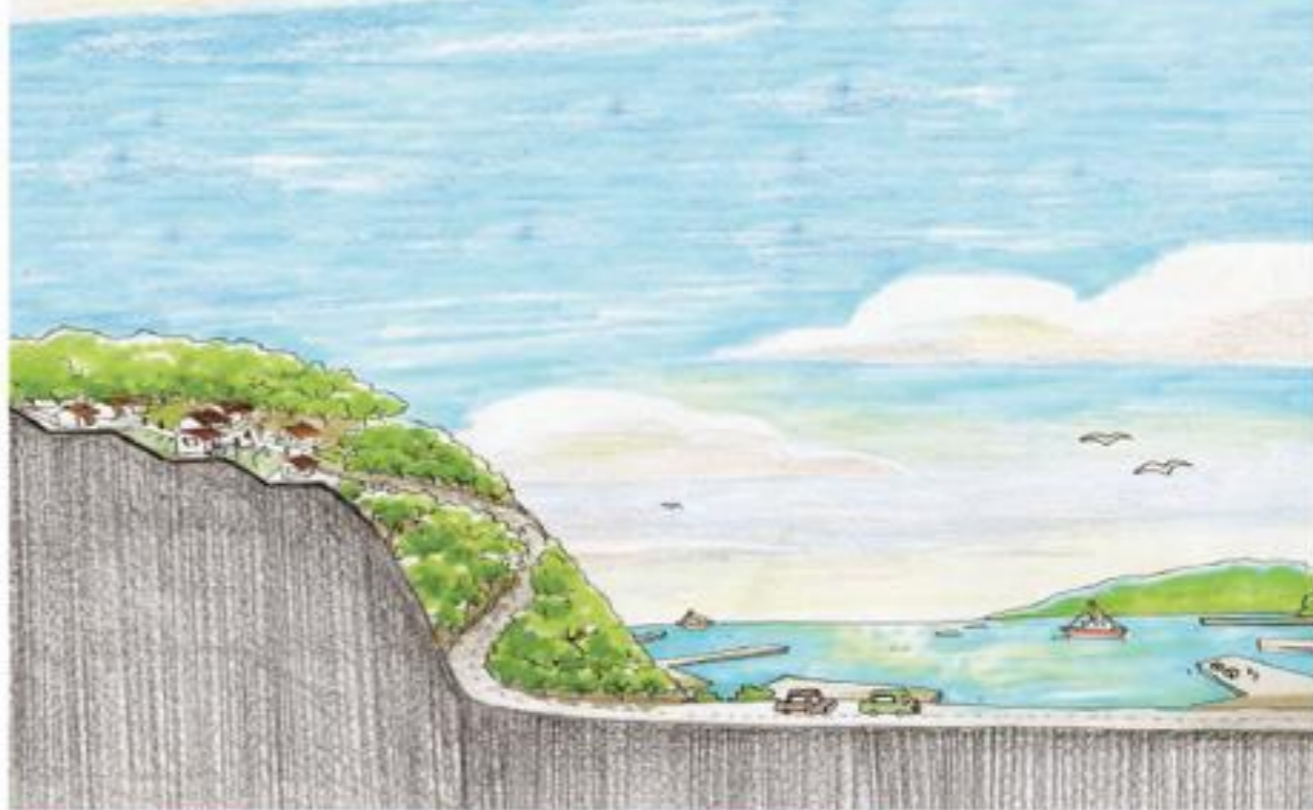
石巻市牡鹿半島調査
W19-04-2浜の将来アクティビティ提案書
鮎川浜 ayukawa-hama
作成日時 調査資料作成者
2011/07/29

エリア A 商店街 + 高齢者向け公営住宅 + 高台住宅
鮎川浜だけではなく、広域からもたくさんの人々が集まる商店街。
病院やアイサービスに来たついでにも利用しやすい立地。



エリア B 既存住宅地の空地利用 + 高台住宅

高台に住みながら海のすぐそばに住むことができる。
浜で生計を立てる若い人々のための住宅地。



エリア C スポーツパーク

市民や子供たち、観光客でにぎわう町の中心の運動公園。



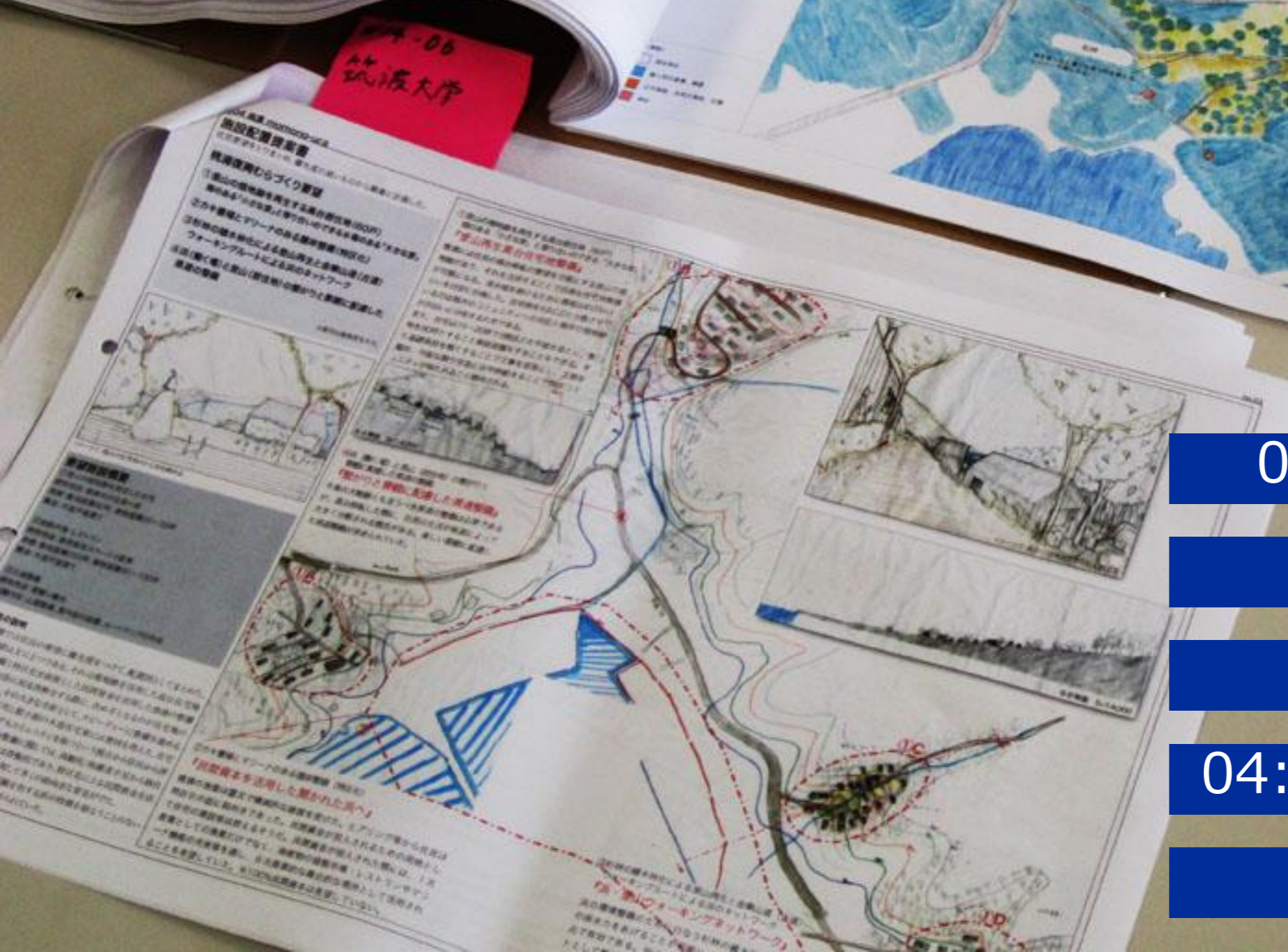
エリア D 港湾

まちの産業の中心である漁港。
漁業体験施設やおみやげ屋、食堂にくわえて、金華山や網
地島への連絡船ターミナルが集まる鮎川浜の観光スポット。



IN 10 DAYS

HANDOUT to ISHINOMAKI CITY OVER 200 pages



E01-06
筑波大学

E07-08
富野大学 奉東

N19
Y-GSA

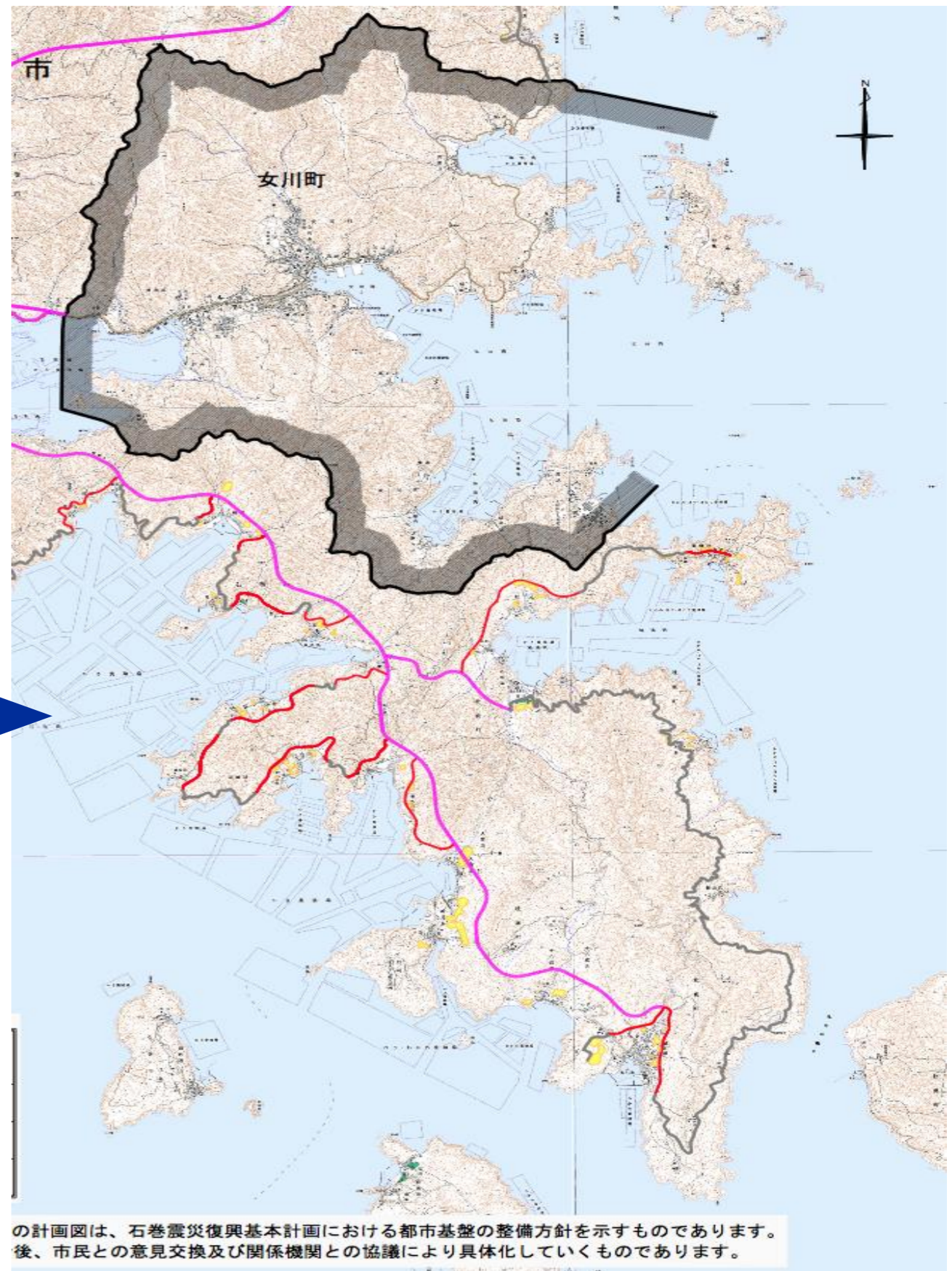
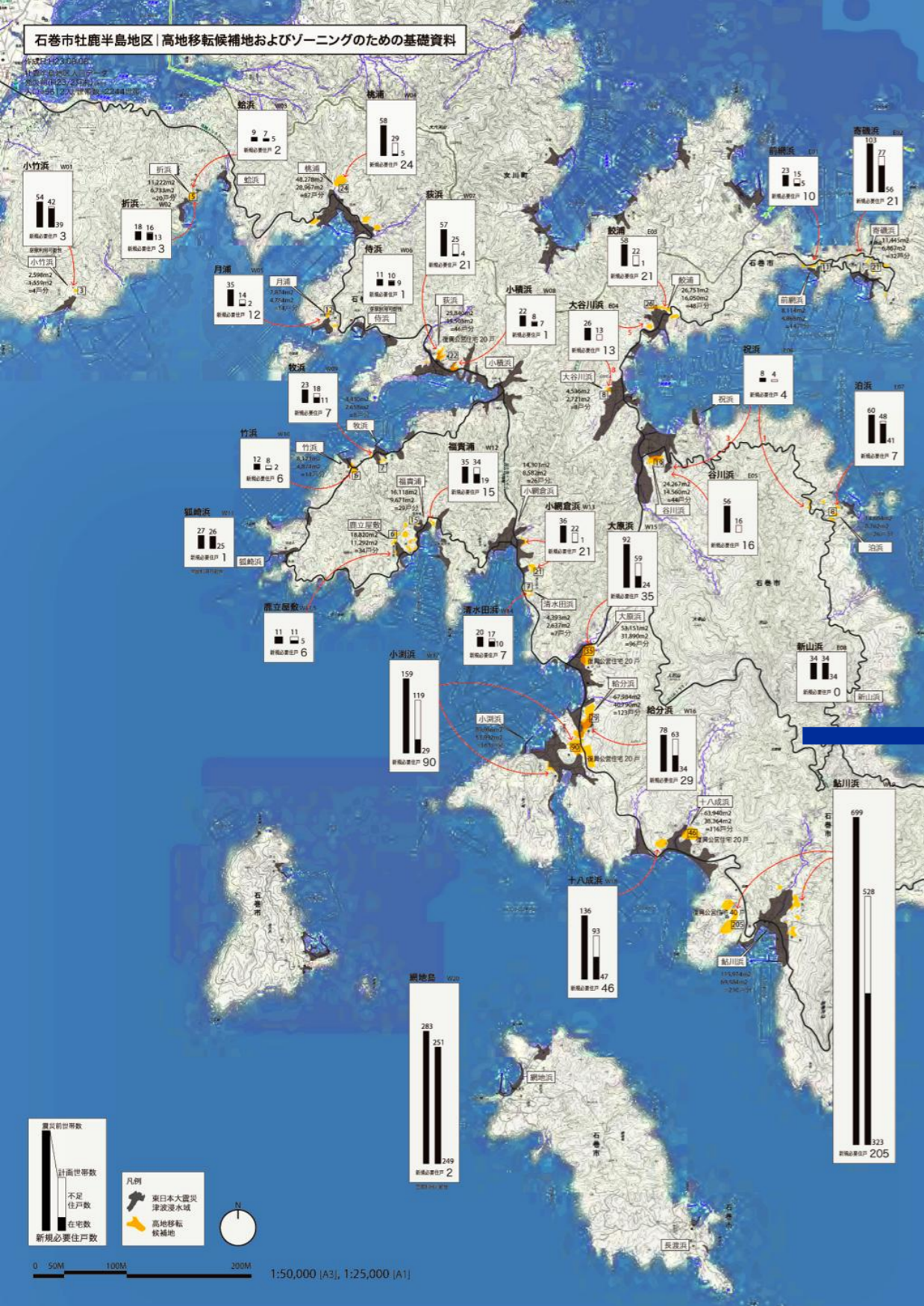
01: インタビューシート

02: 地域診断カルテ

03: 施設配置提案書

04: アクティビティ提案書

05: 地域活性化提案書

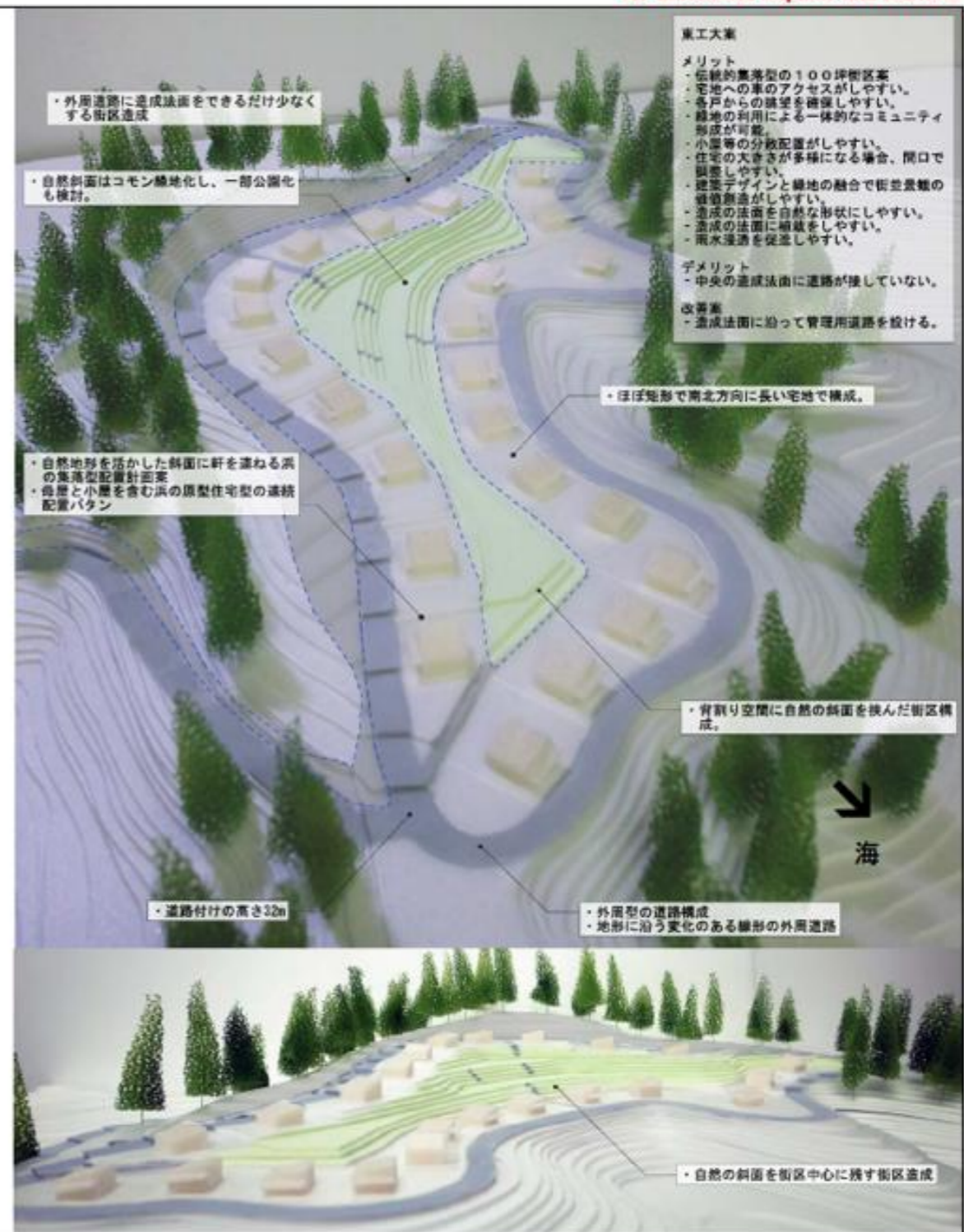


ArchiAid research
 5days 2011/08/08

石巻市 都市基盤復興基本計画図
 2011/08/22



「浜からはじめる復興計画」 彰国社

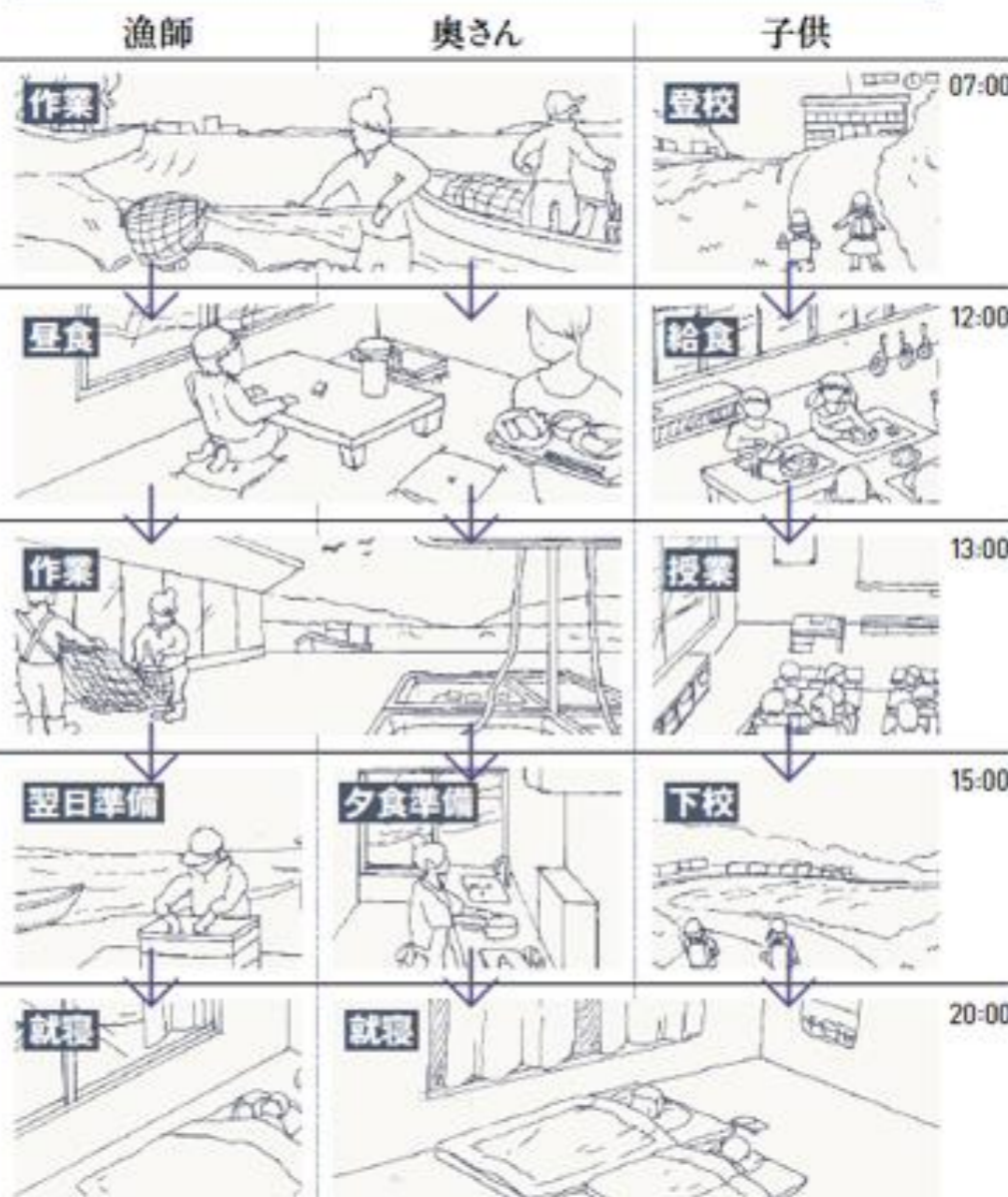


浜の風景の良さを活かし、ずっと住み続けられる町へ

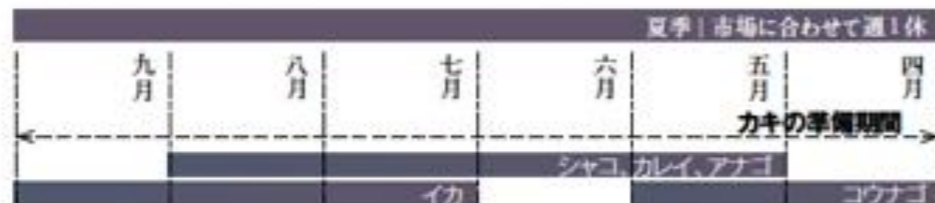
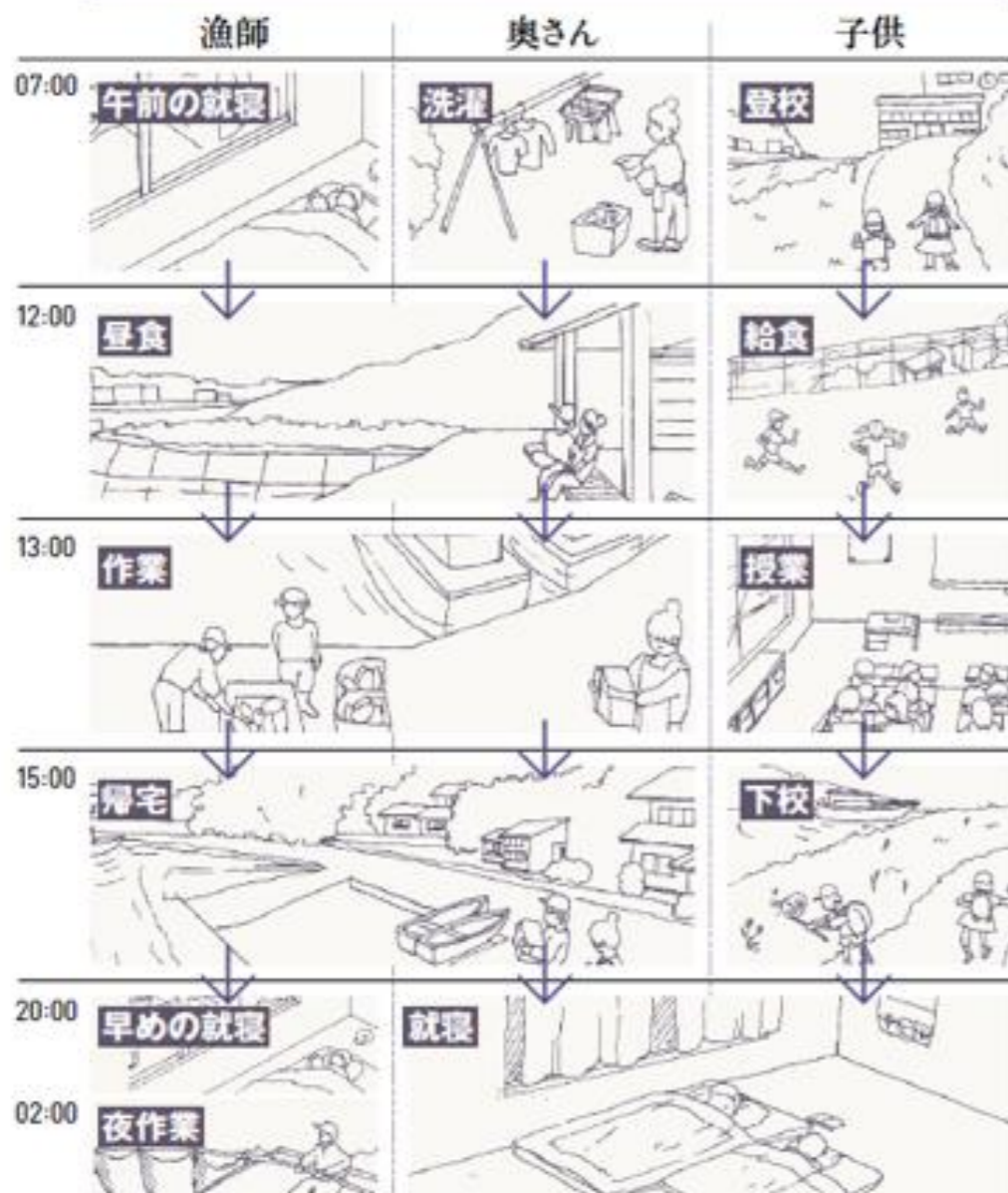
浜のライフスタイル

タイムライン 福貴浦

1 冬季 カキ養殖



2 夏季 シヤコカレイアナゴ漁



浜のライフスタイルは海でとれるものが違うため季節によって大きく変化します。その様子を福貴浦を例に図化しました。

浜の将来図

浜の近くの高台につくられた住宅地は、
低地の浜と一体的な風景をつくります。
浜は漁業の後継者を育てる学校や、
観光のためのヨットハーバー、レストラン、
モバイル市場などで活用され、
活気づいていきます。

